# 2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日


上場会社名　株式会社 アイフィスジャパン　　上場取引所　東
コード番号　7833　URL https://www.ifis.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 大澤　弘毅
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ　ディレクター　(氏名) 長島　正光　TEL 03-6824-6440

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年12月期第3四半期 | 5,162 | 2.0 | 627 | 6.7 | 635 | 7.5 | 412 | 7.8 |
| 2025年12月期第3四半期 | 5,061 | 22.1 | 587 | 6.3 | 591 | 6.9 | 383 | 4.1 |

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　417百万円　(9.7%)　2025年12月期第3四半期　380百万円　(2.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年12月期第3四半期 | 42.85 | ― |
| 2025年12月期第3四半期 | 39.77 | ― |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年12月期第3四半期 | 7,245 | 6,121 | 84.5 | 635.39 |
| 2025年12月期 | 7,164 | 5,945 | 83.0 | 617.08 |

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期　6,121百万円　2025年12月期　5,945百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | ― | 10.00 | ― | 25.00 | 35.00 |
| 2026年12月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 2026年12月期(予想) | | | | 30.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)2025年12月期の第2四半期末配当金10円は、設立30周年記念配当であります。

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,200 | 3.5 | 880 | 3.3 | 880 | 3.0 | 570 | 2.5 | 59.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年12月期3Q | 10,242,000 株 | 2025年12月期 | 10,242,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年12月期3Q | 607,305 株 | 2025年12月期 | 607,305 株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2026年12月期3Q | 9,634,695 株 | 2025年12月期3Q | 9,634,695 株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

# １．当四半期決算に関する定性的情報

## （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移したほか、企業の設備投資もDXや生成AI関連を中心とした成長投資需要に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。インバウンド需要についても引き続き高水準で推移し、サービス関連産業を中心に景気を下支えする要因となりました。

一方で、海外経済においては、米国の通商政策や関税政策を巡る不透明感、中国経済の成長鈍化懸念、欧州主要国における金融政策の動向等に加え、ウクライナ情勢や中東情勢をはじめとする地政学的リスクが継続しており、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続きました。また、国内においても物価上昇や為替相場の変動が家計消費や企業収益に与える影響について注視が必要な状況が続きました。

このような環境下、当社事業と関連性の高い証券市場においては、企業業績の堅調な推移や資本効率改善への取り組み、生成AI関連を中心とした成長分野への期待感などを背景として、総じて底堅く推移しました。一方で、各国金融政策の見通しや国際情勢の変化を受けて市場変動性が高まる局面も見られましたが、投資家の中長期的な投資姿勢は維持されました。国内株式市場では企業のガバナンス改革や株主還元強化への期待も相場を支える要因となり、2026年９月末時点の日経平均株価は66,000円台と、高水準で推移しました。

また、投資信託市場においては、新NISA制度の定着がさらに進み、個人投資家による中長期の資産形成ニーズが引き続き拡大しました。積立投資を中心とした安定的な資金流入に加え、株式市場の堅調な推移を背景とした運用資産残高の増加も追い風となり、資産運用ビジネスを取り巻く事業環境は良好に推移しました。公募投資信託市場の純資産総額は、一時、過去最高を記録するなど高水準を維持しました。

このような状況の中、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,162百万円（前年同期比2.0％増）となりました。利益面につきましても、売上高の増加を背景に、営業利益は627百万円（前年同期比6.7％増）となりました。また、経常利益は635百万円（前年同期比7.5％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は412百万円（前年同期比7.8％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

＜投資情報事業＞

機関投資家や証券会社向けに展開している各種サービスでは、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』が前年に引き続き、堅調に推移しました。また、証券会社向けコンテンツに関する改修案件の増加により、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は1,171百万円（前年同期比5.1％増）、営業利益は480百万円（前年同期比7.5％増）となりました。

＜ドキュメントソリューション事業＞

生命保険関連の印刷・配送サービスは、大口顧客における帳票改訂が行われたことにより、売上高は堅調に推移しました。一方、企業年金関連サービスは、提供サービスの品質向上及び安定運用を目的とした体制強化に伴い保守費用が増加したため、前年同期比で増収減益となりました。

その結果、売上高は1,288百万円（前年同期比0.9％増）、営業利益は80百万円（前年同期比40.3％減）となりました。

＜ファンドディスクロージャー事業＞

投資信託関連の編集・印刷・配送サービスは、定期印刷案件が減少傾向にある一方、新ファンド関連の制作案件が増加したことに加え、マーケティング支援として顧客のWebサイト構築案件を受注したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は1,075百万円（前年同期比9.3％増）、営業利益は257百万円（前年同期比35.3％増）となりました。

＜ITソリューション事業＞

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、顧客のDX推進を背景とした需要拡大を受け、業務システム分野における新規受注が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は669百万円（前年同期比6.4％増）、営業利益は83百万円（前年同期比6.6％増）となりました。

＜ランゲージソリューション事業＞

グローバル企業等向けの翻訳・通訳サービスは、顧客におけるAI活用が進み、翻訳業務の内製化に伴って受注が減少したことにより、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は957百万円（前年同期比9.4％減）、営業利益は51百万円（前年同期比24.1％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、7,245百万円となりました。

流動資産合計は168百万円増加し、6,074百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が58百万円減少した一方で、現金及び預金が250百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は87百万円減少し、1,171百万円となりました。主な要因は、無形固定資産が88百万円減少し、有形固定資産が９百万円減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し、1,124百万円となりました。

流動負債は59百万円減少し、884百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が55百万円増加した一方で、未払法人税等が17百万円減少し、その他（未払金）が53百万円減少したことによるものであります。

固定負債は35百万円減少し、240百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、6,121百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益412百万円の計上による増加と、株主還元として実施した剰余金の配当240百万円の支払によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月12日公表の2026年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（2025年12月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,037,597 | 5,288,422 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 737,501 | 679,206 |
| その他 | 130,340 | 106,776 |
| 流動資産合計 | 5,905,439 | 6,074,404 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 137,927 | 128,077 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 216,633 | 174,218 |
| ソフトウエア | 199,010 | 174,644 |
| ソフトウエア仮勘定 | － | 13,816 |
| その他 | 410,969 | 375,869 |
| 無形固定資産合計 | 826,614 | 738,549 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 295,344 | 304,942 |
| 貸倒引当金 | △380 | － |
| 投資その他の資産合計 | 294,964 | 304,942 |
| 固定資産合計 | 1,259,506 | 1,171,569 |
| 資産合計 | 7,164,946 | 7,245,974 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 262,214 | 271,827 |
| 未払法人税等 | 143,539 | 126,504 |
| 賞与引当金 | 24,439 | 79,517 |
| その他 | 513,275 | 406,203 |
| 流動負債合計 | 943,468 | 884,052 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 63,900 | 63,900 |
| 退職給付に係る負債 | 37,657 | 39,602 |
| その他 | 174,497 | 136,576 |
| 固定負債合計 | 276,054 | 240,078 |
| 負債合計 | 1,219,523 | 1,124,131 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 382,510 | 382,510 |
| 資本剰余金 | 438,310 | 438,310 |
| 利益剰余金 | 5,184,992 | 5,357,051 |
| 自己株式 | △92,600 | △92,600 |
| 株主資本合計 | 5,913,211 | 6,085,270 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 353 | 501 |
| 為替換算調整勘定 | 31,857 | 36,070 |
| その他の包括利益累計額合計 | 32,211 | 36,571 |
| 純資産合計 | 5,945,422 | 6,121,842 |
| 負債純資産合計 | 7,164,946 | 7,245,974 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 5,061,628 | 5,162,260 |
| 売上原価 | 2,944,971 | 3,013,780 |
| 売上総利益 | 2,116,656 | 2,148,480 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,528,829 | 1,521,319 |
| 営業利益 | 587,827 | 627,161 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,404 | 8,659 |
| 受取配当金 | 181 | 181 |
| 持分法による投資利益 | 82 | 77 |
| その他 | 691 | 1,023 |
| 営業外収益合計 | 5,359 | 9,942 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20 | 15 |
| 為替差損 | 2,125 | 363 |
| 貸倒損失 | － | 1,155 |
| その他 | 0 | － |
| 営業外費用合計 | 2,146 | 1,534 |
| 経常利益 | 591,041 | 635,570 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 424 |
| 特別利益合計 | － | 424 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 関係会社清算損 | 2,360 | － |
| 特別損失合計 | 2,360 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 588,681 | 635,995 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 188,016 | 253,867 |
| 法人税等調整額 | 17,457 | △30,799 |
| 法人税等合計 | 205,474 | 223,068 |
| 四半期純利益 | 383,206 | 412,926 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 383,206 | 412,926 |

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 383,206 | 412,926 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 43 | 147 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △2,785 | 4,213 |
| その他の包括利益合計 | △2,742 | 4,360 |
| 四半期包括利益 | 380,463 | 417,287 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 380,463 | 417,287 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 98,930千円 | 105,979千円 |
| のれんの償却額 | 42,415 | 42,415 |

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 投資情報事業 | ドキュメントソリューション事業 | ファンドディスクロージャー事業 | ITソリューション事業 | ランゲージソリューション事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| ドキュメント | － | 1,077,211 | 974,185 | － | － | 2,051,397 | － | 2,051,397 |
| Webサービス | 1,034,888 | － | － | － | － | 1,034,888 | － | 1,034,888 |
| 受託開発 | 79,669 | 200,205 | 9,889 | 93,884 | － | 383,649 | － | 383,649 |
| 翻訳・通訳 | － | － | － | － | 759,215 | 759,215 | － | 759,215 |
| その他 | － | － | － | 535,326 | 297,149 | 832,476 | － | 832,476 |
| 外部顧客への売上高 | 1,114,557 | 1,277,417 | 984,075 | 629,211 | 1,056,365 | 5,061,628 | － | 5,061,628 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,460 | 32,192 | － | 143,894 | 1,017 | 179,564 | △179,564 | － |
| 計 | 1,117,017 | 1,309,610 | 984,075 | 773,105 | 1,057,383 | 5,241,193 | △179,564 | 5,061,628 |
| セグメント利益 | 447,410 | 134,995 | 190,083 | 78,408 | 67,479 | 918,376 | △330,548 | 587,827 |

（注）１．セグメント利益の調整額△330,548千円には、セグメント間取引消去△2,004千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△328,544千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

前連結会計年度において、株式会社テンナイン・コミュニケーションの株式を取得し連結範囲に含めたことに伴い、暫定的な会計処理を実施しておりましたが、中間連結会計期間において、当該会計処理が確定いたしました。この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を見直した結果、暫定的に算定されたのれんの金額523,891千円は、会計処理の確定により306,118千円減少し、217,773千円となっております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 投資情報事業 | ドキュメントソリューション事業 | ファンドディスクローザー事業 | ITソリューション事業 | ランゲージソリューション事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| ドキュメント | － | 1,166,297 | 1,061,744 | － | － | 2,228,041 | － | 2,228,041 |
| Webサービス | 1,080,418 | － | － | － | － | 1,080,418 | － | 1,080,418 |
| 受託開発 | 91,226 | 121,987 | 13,849 | 68,038 | － | 295,102 | － | 295,102 |
| 翻訳・通訳 | － | － | － | － | 667,387 | 667,387 | － | 667,387 |
| その他 | － | － | － | 601,639 | 289,672 | 891,311 | － | 891,311 |
| 外部顧客への売上高 | 1,171,645 | 1,288,284 | 1,075,593 | 669,677 | 957,059 | 5,162,260 | － | 5,162,260 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,565 | 45,846 | － | 199,383 | 275 | 248,069 | △248,069 | － |
| 計 | 1,174,210 | 1,334,130 | 1,075,593 | 869,061 | 957,334 | 5,410,330 | △248,069 | 5,162,260 |
| セグメント利益 | 480,848 | 80,630 | 257,205 | 83,622 | 51,207 | 953,514 | △326,353 | 627,161 |

（注）１．セグメント利益の調整額△326,353千円には、セグメント間取引消去△92千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△326,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。